

Substance acting to prevent and improve cerebral function disorder and process for preparing the same

Patent number: JP51007109
Publication date: 1976-01-21
Inventor: ISHII SHOZO
Applicant: CHUGAI PHARMACEUTICAL CO LTD
Classification:
- **international:** A61K35/54
- **european:**
Application number: JP19740074303 19740701
Priority number(s): JP19740074303 19740701

Also published as:

US4067963 (A1)



GB1477548 (A)



FR2276831 (A1)



DE2529291 (A1)

[Report a data error here](#)

Abstract not available for JP51007109

Abstract of corresponding document: **US4067963**

Substance acting to prevent and improve cerebral function disorder which is prepared by treating albumin with a fatty acid and hydrolizing the modified albumin is described.

Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

THIS PAGE BLANK (USPTO)

⑨ Int. Cl²
G 01 D 11/28
G 04 B 19/30

⑩日本分類
105 A 44
109 A 33

⑪日本国特許庁

⑫実用新案出願公告

昭51-7109

实用新案公報

⑬公告 昭和51年(1976)2月26日

厅内整理番号 6533-24

(全3頁)

⑭内部照明式指針形指示器

⑮実 願 昭45-54858

⑯出 願 昭45(1970)6月5日

⑰考案者 豊村武司

東京都渋谷区道玄坂1の21の6

日本航空電子工業株式会社内

⑲出願人 日本航空電子工業株式会社

東京都渋谷区道玄坂1の21の6

⑳代理 人 弁理士 小川大次郎

図面の簡単な説明

第1図は、本考案の一実施例を示す内部照明式指針形指示器の側面断面図、第2図はその正面図、第3図はそのA-A断面図、第4図は光の反射の状態を示す側面断面図、第5図は、本考案の他の実施例を示す内部照明式指針形指示器の側面断面図、第6図はその正面図、第7図はそのA-A断面図である。

考案の詳細な説明

本考案は、新規な内部照明構造を持つ指針形指示器に関する。

従来、内部照明を持つ指示器としては、目盛板に直接光を照射し、暗い室でも目盛板が見えるようにしたものがあつた。しかし、目盛板全体が均一に明るくならず、明暗ができて見にくかつた。

これに対して、本考案の指針形指示器は、目盛板全体が均一に光るよう工夫した新規な内部照明構造を持つものである。

さらに本考案は、指針自体に光を通し、目盛板だけでなく指針自体も光るようにしたものである。

以下本考案を図面を参照して詳細に説明する。

第1図の1はケース、2は目盛板、3は指針、5, 6, 7, 8, 9はランプである。ケース1の内面11は白色塗装又は梨地メッキのように艶消しした反射面を形成する、目盛板2は、透明の板の裏面21を薄く塗装し、文字および目盛部22は、塗装しないか又は表面から他の塗装部と区別

がつくようになつている。指針3は指針部31、柱状部32、ホブ反射面34、ホブ33からなつていて、指針部31の裏面、すなわち目盛板側の面には指針の発光色に合わせて着色してある。5, 6, 7, 8, 9は内部照明のランプであり、ランプの数の組合せは5-6, 7-8, 5-7-9のどれでもよく、複数であつて、柱状部を囲むようになつていればよい。

第5図は、指針が複数でも本考案の効果が得られることを示すもので、1はケース、2は目盛板3は一方の指針、4は他方の指針、5, 6, 7, 8, 9はランプである。

ケース1の内面11は前記実施例と同じように艶消しのない反射面を形成している、この場合ケース底部の隅は、傾斜面12で形成する。そしてランプのすぐ下側の周辺部分、すなわちランプの取付板13は、ランプを取付けるとともに光が良く反射する様に仕上げてある。ケースは、光を通さない材料からできていることは言うまでもない。一方の指針3は透明の材料からできている、その柱状部は中空になっている。又同じく透明の材料からできている他方の指針4の柱状部は、指針3の中空部にカン合され、各々は独立して回転できるようになつている。すなわち指針4の指針部からホブにかけての柱状部は、指針3の指針部からホブにかけての柱状部の中心部を通り抜けて存在していて、指針4のホブは、指針3のホブよりとび出して他の指針駆動部機構に連結できるようになつている。又指針4の指針部は、指針3の指針部より外に出ていて、お互いに邪魔にならないようになつっている。指針部は、前記実施例と同じように目盛板側の面に指針の発光色に合わせて色を付けてなる、5, 6, 7, 8, 9のランプはケース傾斜面12より内側に位置し、指針柱状部を囲むように取り付けられている。

このように本考案の内部照明式指針形指示器は指針と目盛とを同一の光源から同時に照射するとともに直接光と乱反射光を合成して目盛板全体を

3

4

均一に光らせるものであり、指針は螢光塗料等の
ような方法に比べ好みの明度色相に調整がきわめて
容易に行なえ明確に指示値を半観でき放射線等
も発生しないので多数の計器を使用する航空機用
計器に適している。

さらに指針を複数にしても同様に、同一光源から
各々の指針と目盛を同時に照射するとともに、
目盛板全体を均一に光らせるものである。

◎実用新案登録請求の範囲

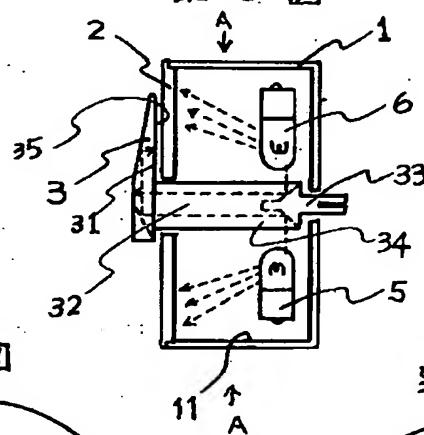
ケース内面と目盛板裏面と柱状部とがランプを
囲むような構造の指針形指示器であつて、ケース
内面の大部分を乱反射板で形成し、目盛板は文字
および目盛はすき通つて他はすき通らないように

形成し、複数個のランプの中間に透明材料から
きた柱状部を配置し、その保持柱は、目盛板を
つきねけて指針部に移行し、指針は目盛板と平行に
配置し、指針の目盛板側の面は、乱反射面で形成
していく、同一の光源から目盛板と指針とに光を
同時に誘導し、ケース内部の光を乱反射させて目
盛板の目盛および文字が全体として均一に光るよ
うにした内部照明式指針形指示器。

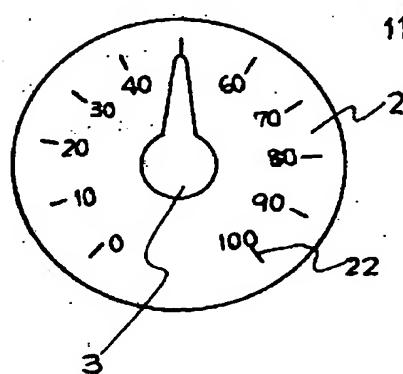
◎引用文献

実 公 昭38-12787

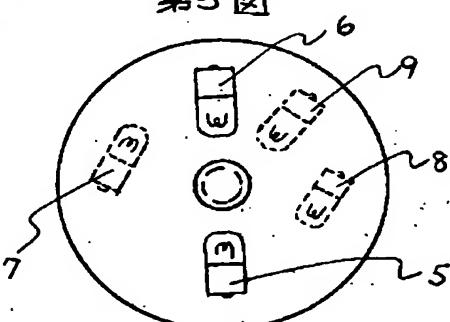
第1図



第2図



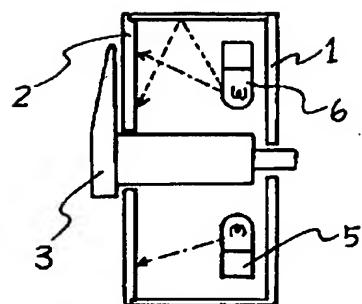
第3図



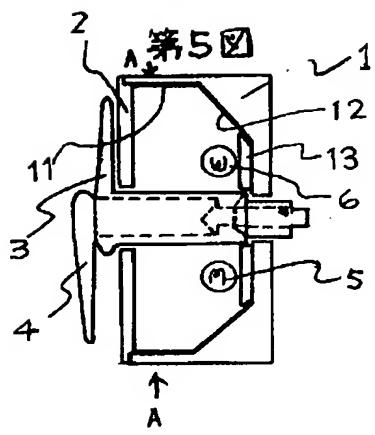
(3)

実公 昭51-7109

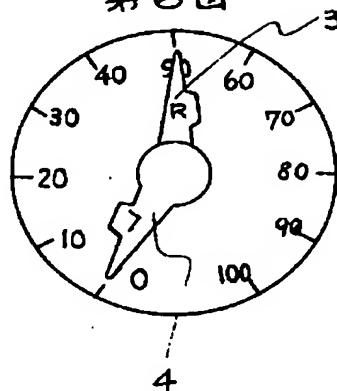
第4図



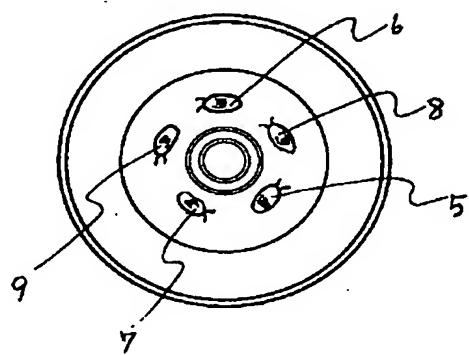
第5図



第6図



第7図



THIS PAGE BLANK (USPTO)

THIS PAGE BLANK (USPTO)